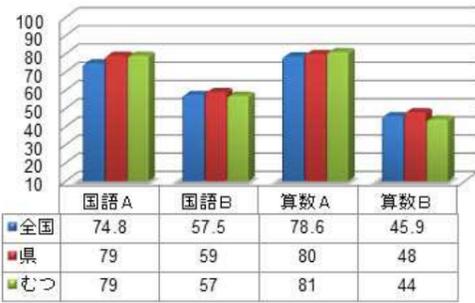
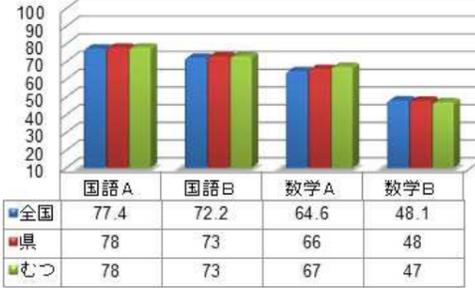


「むつ市教育大綱」における主な施策の中間報告

1 趣旨

本大綱を着実かつ効果的に推進していくため、P D C Aサイクルの考え方に基づき、毎年度、重点目標を達成するために各施策を実施するとともに、総合教育会議において成果や課題を評価・検証し、その結果を次年度の施策の更なる推進や改善を図る。

2 重点目標と主な施策等（9月30日現在）

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当																																							
1. 学力の向上	(1) 明確な目標設定 「全国でもトップ クラスの学力の育 成」	1) 青森県学習状況調 査	◎県平均を3割上回 る	① 8月 調査実施 ② 2月 結果公表	・ 2月に集計	① 学力向上アクション プランの推進 ② 活用する力を高める指導 の推進	学 校 教育課																																							
		2) 全国学力学習状況 調査	◎全国平均を3割上 回る	4月～ ① 学力向上アクションプラン ・ 分かる授業の実践 ・ 小中一貫教育による系統的 な教育課程編成 ・ 学力検査の分析 ・ 個に応じた指導 ・ 活用する力を高める指導 ・ 家庭学習の習慣化 ② 教員の授業力の向上 ・ 教育研修センター講座 ・ 弘前大学との連携講座	・ 小学校6年生結果  <table border="1" style="display: none;"> <tr><th>科目</th><th>全国</th><th>県</th><th>むつ</th></tr> <tr><td>国語A</td><td>74.8</td><td>79</td><td>79</td></tr> <tr><td>国語B</td><td>57.5</td><td>59</td><td>57</td></tr> <tr><td>算数A</td><td>78.6</td><td>80</td><td>81</td></tr> <tr><td>算数B</td><td>45.9</td><td>48</td><td>44</td></tr> </table> ・ 中学校3年生結果  <table border="1" style="display: none;"> <tr><th>科目</th><th>全国</th><th>県</th><th>むつ</th></tr> <tr><td>国語A</td><td>77.4</td><td>78</td><td>78</td></tr> <tr><td>国語B</td><td>72.2</td><td>73</td><td>73</td></tr> <tr><td>数学A</td><td>64.6</td><td>66</td><td>67</td></tr> <tr><td>数学B</td><td>48.1</td><td>48</td><td>47</td></tr> </table>	科目	全国	県	むつ	国語A	74.8	79	79	国語B	57.5	59	57	算数A	78.6	80	81	算数B	45.9	48	44	科目	全国	県	むつ	国語A	77.4	78	78	国語B	72.2	73	73	数学A	64.6	66	67	数学B	48.1	48	47	① 学力向上アクション プランの推進 ② 活用する力を高める指導 ⇒ 身近な生活の場面を用 いて、質問の意図を読 み取り、ポイントとな る情報を問題文や資料 から読み取った上で、 適切に思考・判断・表 現する力の育成 ⇒ 授業改善の促進 活用力育成講座の新設 活用型問題集の改善
	科目	全国	県	むつ																																										
国語A	74.8	79	79																																											
国語B	57.5	59	57																																											
算数A	78.6	80	81																																											
算数B	45.9	48	44																																											
科目	全国	県	むつ																																											
国語A	77.4	78	78																																											
国語B	72.2	73	73																																											
数学A	64.6	66	67																																											
数学B	48.1	48	47																																											
(2) 主体的な学習の推 進 「アクティブラーニ ング」の推進	1) 主体的・対話的で 深い学びの視点で の授業改善	◎ 計画訪問や要請訪 問における指導と 評価 (改善状況100%)	① 計画訪問（5～6月）では 「主体的・対話的で深い学 び」の視点での授業改善の必 要性について説明するととも に、授業全般について指導助 言を行った。 ② 弘前大学との連携講座では、 主体的・対話的で深い学びの 視点で講義して頂いた。	・ 3月に集計	① 要請訪問（10月以降） では、各校で実施する教 科の研究授業において、 担当指導主事が指導助言 を行う。 ② 各校の授業改善状況を把 握した上で、指導上の課 題を次年度の学校訪問資 料「指導の方針と重点」 に反映させる。	学 校 教育課																																								

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
1. 学力の向上	(2)主体的な学習の推進 「アクティブラーニング」の推進	2)新聞を活用した教育活動	◎児童生徒及び教員向けアンケート (A評価60%)	①小学校5年生以上の全学級で新聞購読を開始した。 ②N I Eガイドブックを各校に配付するとともに、教育研修センター講座においてN I Eアドバイザーによる新聞活用に係る研修会を開催した。 ③東奥日報社の新聞記者による出前授業を15校で実施した。	・新聞の購読率(H29年4月) むつ市小学校7%(全国9%) 中学校6%(全国7%) ・3月にアンケート調査	①年度末にはアンケート調査を実施し、各校からは活用状況に係る報告書が提出される。 ②各校の実践例の共有化 ③新聞を使った活用型問題集の作成 ④新聞感想コンクール等への参加促進	学 校 教育課
	(3)教育環境の整備	1)特別支援教室の充実	◎I C Tを活用した特別支援教育に関する勉強会の開催 (H30年度実施予定)	・苫生小学校のタブレット端末は10月中旬の納品予定であり、授業での活用を重ね勉強会プログラムを構築する。			総務課
		2)「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」に基づく、学校規模の適正化	◎大畑地区の小中学校の統合計画の策定 (H30年度策定)	5月)保護者説明会 7月)児童アンケート実施 8月)児童アンケート結果を保護者に通知 11月)住民説明会開催(住民アンケート実施)			総務課
		3)高度情報化に対応するための人材育成	◎I C Tを活用に関する事業の導入 (全中学校9校)	・8月に関根中学校へタブレット端末50台が導入され事業がスタートしている。			総務課
	(4)教職員の資質向上 「専門性を身に付けた教職員の育成」	1)むつ市教育研修センターの研修講座の推進	◎研修講座実施後の参加者アンケート (A評価80%)	①弘前大学教育学部との連携6講座 ②青森県総合学校教育センターから講師派遣2講座 ③その他の講師派遣3講座 ④学校教育課担当4講座	・9月末現在で14講座を終えており、参加者アンケートの結果は、A評価78%である。	①アンケート結果を精査し教職員のニーズに応じて講座内容を工夫する。 ②新学習指導要領に対応した講座となるよう改善を図る。	学 校 教育課
		2)校内研修体制の整備・充実	◎「校内研修の成果と課題」の集約と分析 (改善状況100%)	①学校訪問資料「指導の方針と重点」に、校内研修推進に関する項目を追加し、計画訪問で要点を説明した。 ②学校教育課広報で校内研修の充実に係る情報提供をした。 ③各校の校内研修計画を情報共有した。	・3月に取りまとめ	①要請訪問では各校の校内研修に関連させて担当指導主事が助言を行う。 ②校内研修の推進状況を把握した上で、課題を次年度の「指導の方針と重点」に反映させる。	学 校 教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
1. 学力の向上	(5) 幼保小連携 「幼児教育と義務教育の相互理解」	1) 幼稚園・保育園と 小学校との連携研 修講座	◎研修講座実施後の 参加者アンケート (A評価80%) 参加者のニーズに合 致した研修であった か。	①5月～8月 担当指導主事 20園訪問 ②7月 幼保小連携講座開催 ③8月 特別支援教育に関する 講座開催	・参加者アンケート結果 A: 57.1% B: 38.1% ・幼稚園や保育園の先生方からは高い 評価であった。 ・園と小学校の先生方の情報交換や交 流は有意義であるとの感想が多か った。	①アンケート結果に基づ き、参加者のニーズに応 じた内容となるよう改善 を図る。 ②必要に応じて小学校等に 情報提供する。	学 校 教育課
		2) スタートカリキュ ラム(園と小学校 の接続期カリキュ ラム)の作成	◎各小学校における 作成状況 (29～30年度 作成率100 %) 小学校生活と教科の 学習に慣れるよう意 図されているか。	①青森県総合学校教育センター の担当指導主事による講座を 開催した。 ②3回の作成会議において基本 案を策定する。	・平成30年度中に把握	①策定した基本案を1月の 「指導の方針と重点」説明 会で全小学校に配付し各 校での作成を依頼する。 ②次年度の「幼稚園・保育 園と小学校との連携研修 講座」において情報提供 する。 ③各校の作成状況を把握す る。	学 校 教育課
2. 体育・健康 教育の充実	(1) 健康な体を育む学 校づくり	1) 健康教育の実施	◎肥満傾向児の出現 率 (前年度以下)	①計画訪問において、短命5大 要因(肥満、運動、食生活、 喫煙、飲酒)に関する健康教 育を推進するよう依頼した。 ②学校保健調査で肥満傾向児の 出現率を把握した。	・28年度 ⇒ 29年度 小学校全学年 男子 15.91% ⇒ 16.47% 女子 12.97% ⇒ 12.39% 中学校全学年 男子 16.03% ⇒ 16.65% 女子 17.17% ⇒ 15.96% ・小中学校とも、女子は肥満傾向児の 出現率が下がった。	①12月に各校の養護教諭 を対象に「心と体の健康 教育講座」を開催する。 ②各学校での取り組みを継 続するとともに、家庭で の取り組みも働きかけて いく。	学 校 教育課
		2) 「健康の未来」を 変える授業プロジ ェクト	◎実施校4校でのア ンケート調査 (A評価60%)	①7月 弘前大学大学院医学研 究科の中路特任教授が大平小 学校の4年生を対象に授業を 実施した。 ②7月 弘前大学大学院医学研 究科の中路特任教授が田名部 中学校の1年生と保護者を対 象に授業を実施した。その 際、高瀬歯科医院長による口 腔の健康に関する授業も実施 した。	・職員アンケート A評価: 63% B評価: 37% ・健康に関して児童生徒に関心を抱か せる機会となり、短命県、肥満等へ の理解が進んだ。	①11月には川内小学校と 近川中学校において授業 を実施する。 ②年度末には実践資料集を 市内小中学校に配布する とともに、次年度の教育 研修センター講座でも活 用する。	学 校 教育課
		3) 新体力テストの実 施と分析	◎県平均との比較 (前年度以下)	①各校において、握力、上体お こし、長座体前屈、50m 走、立ち幅とび、ソフトボ ール投げ、反復横とび、シャ トルランの8種目を実施した。	・3月に集計	①3月には全国及び県の集 計結果が発表されるため むつ市との比較を行う。 ②各校においてスポーツ活 動を確保するよう依頼す る。	学 校 教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の実績状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
2. 体育・健康 教育の充実	(2)安全・防災教育の 推進	1)危機管理マニュアル策定	◎各学校における改善状況の把握 (29～30年度 改善率 100%)	①3回の作成会議において全体的な検討を行い、声かけ事案、食物アレルギー、児童虐待、弾道ミサイル等への対応を新たに追加した。 ②市内小中学校の全学級(209)にマニュアルを配備するにあたって説明会を開催した。 ③各校のマニュアル改善を依頼した。	・平成30年度中に把握	①各校の危機管理マニュアルの改善状況を把握する。 ②各校の危機管理マニュアルの共有を図る。	学 校 教育課
	(3)スポーツ環境整備	1)小学校部活動のスポーツ少年団への移行	◎指導者データベースの創設 (目標：30年度)	・指導者の負担軽減のため、補助金交付要綱を制定 ・スポーツ指導者の把握調査実施	・むつ市体育・スポーツ振興事業運営費補助金交付要綱改定 (むつ市)(H29.8.3) ・スポーツ指導者資格受講料等補助金交付要綱制定 (スポ少)(H29.8.30) ・把握調査(15団体/21団体中から回答有)	・平成30年12月創設を目標に調査を継続し、関係機関との調整を図りながら、公募する。	市 民 スホ ーツ 課
			◎小学校部活動(運動部)をスポーツ少年団等へ全面的に移行 (目標：31年度)	①他地区からの情報収集 ②市内各小学校からの聞き取り ③教育委員会の基本計画作成	①教育委員会と校長会の合同会議において情報提供する。 ②市連P等に情報提供及び協力要請をする。 ③小学校スポーツ活動の指針を作成する。	総務課 学 校 教育課	
		2)スポーツ施設の整備	◎新体育館の建設 (目標：31年度)	・新体育館基本設計 ・新体育館実施設計	・基本設計 完了(H29.7月) ・実施設計 作業中	・平成30年度着工 ・平成31年度竣工	市 民 スホ ーツ 課
	3)トップアスリートとの交流機会の創出	◎年1回以上実施 (目標：33年度)	①9月 NTT東日本漕艇部によるボート教室を開催 ②12月 西武ライオンズによる「ふれあい野球教室」を開催予定	・NTT東日本漕艇部によるボート教室(9/17～18) 参加：高校生 90名	・今後も年1回以上の開催を目指す。	市 民 スホ ーツ 課	

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
3. 夢を育む教育	(1) 学力の保障を通じた生きる力の育成	1) むつ市総合学力調査	◎意識調査「自己肯定感」 (前年度以上) ・将来の夢や進路について家の人と話を する。 (設問11) ・努力すればたいてい のことはできる。 (設問25) ・自分には褒められ るような得意なこと がある。 (設問53)	①計画訪問において、全ての教育活動を通して児童生徒の自己肯定感を育成するよう依頼した。 ②温かい人間関係づくりを基盤とした学年・学級経営に努めるよう依頼した。	・4月実施結果 28年度 ⇒ 29年度 小5 62.9% ⇒ 67.0% (全国 62.4%) 中2 76.3% ⇒ 77.6% (全国 70.1%) 小5 90.3% ⇒ 92.3% (全国 90.4%) 中2 81.3% ⇒ 87.2% (全国 82.5%) 小5 77.0% ⇒ 82.5% (全国 78.0%) 中2 66.5% ⇒ 70.5% (全国 70.8%)	①調査結果に基づき、引き続き児童生徒が自己肯定感を持てるよう、要請訪問等で各校に働きかける。 ②調査結果を次年度の学校訪問資料「指導の方針と重点」に反映させる。	学 校 教育課
		2) 全国学力学習状況調査	◎質問紙調査「夢や目標」 (前年度以上) 将来の夢や目標を持っているか。	①計画訪問において、児童生徒の発達段階に応じてキャリア教育を推進するよう依頼した。	・4月実施結果 28年度 ⇒ 29年度 小6 87.0% ⇒ 93.2% (全国85.9%) 中3 77.6% ⇒ 78.4% (全国70.5%)	①調査結果に基づき、引き続き児童生徒が夢や目標を持てるよう、要請訪問等で各校に働きかける。 ②キャリア教育を充実させるために、体験を充実させるよう依頼する。	学 校 教育課
	(2) キャリア教育の充実	1) むつ市中学生夢はぐくむ体験入学	◎参加者へのアンケート調査 (A評価80%) 体験を通し、将来の夢に向かい更にしっかり勉強したい。	①4月 募集開始 ②7月 事前指導 ③8月 青森中央学院大学にて看護体験 ④8月 アンケート集計 ⑤9月 集計結果資料作成 関係校への配付	・8月参加者アンケート結果 H28: 75.0% H29: 75.0%	①アンケート結果を精査し、参加者のニーズに応じた内容となるよう青森中央学院大学の担当者と協議する。 ②次年度以降、広く医療関係を希望する生徒の参加を促す。	学 校 教育課
		2) ジュニア大使派遣事業	◎参加者へのアンケート調査 (A評価80%)	①5月 募集開始 ②6月 面接選考 ③7月 任命書・委嘱状交付式 ④7月～12月 事前研修 (7回)	・1月アンケート調査	①12月 結団式 ②1月 派遣団出発(4日) 派遣団帰市(11日) 事後研修 (帰市以降2回) アンケート実施 報告会(月末)	学 校 教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
3. 夢を育む教育	(2) キャリア教育の充実	3) むつ市議会傍聴体験とこども議会の推進	◎参加者へのアンケート調査 (A評価80%)	①校長会で依頼 ②9月 議会傍聴体験 ③10月 一般質問作成 ④10月 各中学校で携帯電話の使用ルールに係る取組	・11月アンケート調査	①こども議会(11/14) ②アンケート調査 ③報告書作成(2月)	学校教育課
	(3) 特別支援教育の充実	① スクールサポーター配置	◎配置校へのアンケート調査 (A評価60%)	①3月 説明会実施 ②各月 スクールサポーター配置校から勤務状況報告書の提出 ③7月 スキルアップ研修会 ④8月 特別支援教育研修講座	・12月アンケート調査	①12月 各校へのアンケート調査 サポーターとの面談 ②1月 次年度の募集開始 ③2月 採用面接 ④3月 採用決定	学校教育課
		② 個別の教育支援計画の作成	◎個別の教育支援計画の作成状況 (作成率100%)	①5月 就学事務説明会にて作成依頼 ②6月 特別支援学級等調査 ③7月～8月 保護者との面談を経て作成	・6月段階の作成状況 88.7%	①11月 特別支援教育体制整備状況調査 ②3月 進級・進学にあたっての確実な引き継ぎ	学校教育課
	(4) 豊かな心の育成	1) いじめ防止に向けた日常的な取組	◎いじめ解消率の把握 (解消率90%)	①4月の校長会でいじめ対応に関する対応を依頼 ②人間関係づくりの促進 ③いじめ発生時の報告書提出 ④関係校と定期的な情報交換	・9月末現在の報告件数 8件 解消した件数 7件 解消率 87.5%	①未解決の学校と継続して情報共有し、関係者の支援にあたる。 ②生徒指導担当者どうしの情報共有を促進する。	学校教育課
		2) いじめ防止宣言フォーラムの開催	◎児童生徒へのアンケート調査 (A評価80%)	①フォーラム開催について校長会等で周知した。 ②いじめ防止に係るリーフレットを作成し全保護者に配付した。 ③11月9日に近川中学校で開催されるフォーラムに向け準備を進めている。	・11月アンケート調査	①アンケート調査 ②事後指導用資料作成 ③小中学校へ配付	学校教育課
		3) 生徒指導検査アセスに基づく児童生徒理解	◎各学校の取組状況の把握 (取組状況100%)	①アセスに基づく児童生徒理解について校長会で依頼した。 ②8月に青森県総合学校教育センターの講師によるアセス活用講座を実施した。	・3月に集計	①年度末には児童生徒理解に向けた取組状況に係る報告書が各校から提出される。 ②報告内容を集約した上で、効果的取組について各校と情報共有を図る。	学校教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の取組状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
3. 夢を育む教育	(4) 豊かな心の育成	4) 望ましい生活習慣の育成	◎全国学力調査での質問紙調査 (肯定的評価全国以上) ①携帯電話等について家の人と約束したことを守っているか。(設問25) ②テレビやゲームの時間などのルールを家の人と決めてあるか。(設問26) ③家で、自分で計画を立てて勉強しているか。(設問29) ④学校のきまりを守っているか。(設問49)	①4月 校長会、計画訪問、生徒指導担当者会議において基本的生活習慣の育成について依頼した。 ②定期的に生徒指導担当者と情報共有を図ってきた。 ③9月 携帯電話に関するアンケート調査を実施した。	・4月実施結果 小6 50.4% (全国 48.7) 中3 48.5% (全国 50.6) 小6 57.2% (全国 58.3) 中3 29.2% (全国 34.0) 小6 78.3% (全国 64.5) 中3 55.6% (全国 51.5) 小6 94.7% (全国 92.6) 中3 97.1% (全国 95.2)	①要請訪問や生徒指導担当者会議で情報提供する。 ②携帯電話等の使用状況の集計結果について、市内小中学校の全家庭に周知する。 ③11月のこども議会において、携帯電話等の使用ルールに係る議案提案を予定している。 ④各校からの要請に応じて情報モラル教室に生徒指導担当指導主事を派遣する。	学 校 教育課
		5) 思いやりなど豊かな心の育成	◎全国学力調査での質問紙調査 (肯定的評価全国以上) ①人が困っているとき助けてあげる。(設問51) ②人の役に立つ人間になりたい。(設問53)	①計画訪問において、全教育活動を通して道徳教育やキャリア教育を充実させるよう依頼した。 ②温かい人間関係を基盤とした学年・学級経営を充実させるよう依頼した。	・4月実施結果 小6 90.4% (全国 85.3) 中3 85.0% (全国 84.4) 小6 94.1% (全国 92.5) 中3 92.5% (全国 91.9)	①要請訪問等において、今後も心の結びつきを基調とした生徒指導に努めるよう依頼する。 ②家庭や地域と連携した道徳教育を推進するよう、次年度の学校訪問資料「指導の方針と重点」に反映させる。	学 校 教育課

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の実施状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当	
4. 地域とともに ある学校	(1) 家庭・地域との連 携・強化	1) 開かれた学校づく りと地域とともに ある学校づくり	◎コミュニティスク ールの導入 (目標：32年度)	① 6月 基本計画策定に向けた 協議 ② 8月 コミュニティスクール 先進地視察(岐阜市) ③ 9月 基本計画策定に向けた 協議		① 基本計画の具体化 30年度 モデル校での 研究開始 31年度 フォーラム開催 32年度 全小中学校での 導入を検討 ② モデル校との協議	総務課 学 校 教育課	
			◎放課後子供教室の 開設 (7校)	・7月に余裕教室の状況調査を 実施。(大畑小以外なし) ・未設置地域の余裕教室等を把 握しながら開設に努める。	・H29から大湊小学校に開設 (4箇所から5箇所に)	・未設置地域での開設を目 指すとともに、設置地域 では教育活動サポーター の確保に努め活動の充実 を図る。	生 涯 学習課	
			◎学校関係者評価に おける学校運営の 改善状況 (53%→100%)	① 計画訪問で開かれた学校づく りについて依頼した。	・3月に集計	① 年度末に各校から学校関 係者評価の結果が提出さ れる。 ② 評価結果を基に、コミュ ニティスクール移行に向 けた基盤整備に反映させ る。	総務課 学 校 教育課	
	(2) 多様な学習機会の 提供	1) 社会教育施設の利用 促進	◎公民館・図書館利 用者数 (181,000人)	・利用者が利用しやすいサービ スの提供に努めている。	公民館	37,869人	・利用者目線にたった更なる サービスの提供に努め ていく。	公民館 図書館
					図書館	65,235人		
					計	103,104人		
	2) 各種講座や生涯学 習事業の実施	◎主催事業参加者数 (18,522人)	・利用者のニーズに応える事業 の実施に努めている。	生涯学習課	81人	・アンケート調査などから 利用者の意見を把握し、 更なる事業の推進に努め ていく。	生 涯 学習課 公民館 図書館	
				公民館	1,694人			
				図書館	3,378人			
	計	5,153人						
3) 学習・交流の場と なる施設機能の充 実	◎各団体・各サーク ルの利用者数 【公民館・図書館】 (312,025人)	・市民が利用しやすい施設環境 の提供に努めている。	公民館	19,178人	・施設の老朽化に対応しな がら、安心して利用でき る施設環境整備に務めて いく。	公民館 図書館		
			図書館	2,358人				
			計	21,536人				
(3) 廃校校舎の利活用	1) 廃校校舎の計画的 利活用及び解体	◎「むつ市公共施設 等総合管理計画」 に沿った利活用の 検討 (要検討：19校)	・旧戸沢小学校解体工事の設計 が9月に完了しており、工事 発注の準備をしている。			総務課		

重点目標	施策項目	施策内容	K P I (H33年度目標値)	K P I 達成に向けた 平成29年度の実績状況 (10月以降の予定を含む)	K P I 達成度 (平成29年度の成果及び進捗状況)	K P I 達成に向けた 今後の取組	主担当
4. 地域とともに ある学校	(4) ふるさとむつ市へ の愛着と誇りを育 む教育	1) 文化財の保存活用	◎北の防人大湊ボラ ンティアガイドの 登録者数 (20人)	<ul style="list-style-type: none"> 5月、6月で全6回の養成講座を開催した。 ガイドグループと当課で毎月定例会を開催し情報共有に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアガイド登録者 14人 9月末現在 698人/41団体、個人72人 計770人にガイドを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会などを開催し、引き続きボランティアガイドの養成を図っていく。 	生涯 学習課
		2) ジオパークに関する 教育活動	◎ジオパーク体験活 動の参加者 (児童生徒の30%)	<ul style="list-style-type: none"> 4月 校長会でジオパーク体験活動推進事業について説明(バス借上料、教材費等) 5月 ジオ体験(～10月) 下北ジオパーク推進協議会 教育部会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 9月末現在 ジオ体験活動への参加児童生徒 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 13校 (全児童の28%) 中学校 9校 (全生徒の95%) 小中平均 53% 体験活動推進事業 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 9校 (全児童の25%) 中学校 5校 (全生徒の16%) ジオサイト見学先 <ul style="list-style-type: none"> ちぢり浜 8校 釜臥山 4校 脇野沢地区ジオサイト 3校 芦崎 2校 安部城鉦山 1校 佐井村ジオサイト 1校 東通村ジオサイト 1校 下北一周 4校 	<ul style="list-style-type: none"> ①学習成果に係る情報提供の依頼 ②報告書の集約(3月) ③各校の取組を情報共有 	学 校 教育課